

平成18年度第1回河川工作物WG概要

1 開催日時 平成18年6月15日(木) 9:30~12:55

2 開催場所 札幌市民会館(第5会議室)

3 出席者

(1) 委員(五十音順、敬称略)

岡部 健士 徳島大学工学部教授

小宮山 英重 野生鮭研究所

妹尾 優二 流域生態研究所

中村 太士 北海道大学大学院農学研究科教授(座長)

丸谷 知己 北海道大学大学院農学研究科教授

(2) オブザーバー(五十音順、敬称略)

大泰司 紀之 知床世界自然遺産科学委員会委員長

帰山 雅秀 北海道大学大学院水産科学研究院教授

(3) 関係行政機関

斜里町

羅臼町

(4) 事務局

林野庁北海道森林管理局

環境省釧路自然環境事務所

北海道

3 議題及び検討結果

(1) 平成18年度ワーキンググループの進め方について

平成18年度は4回のワーキンググループを開催し検討する。

(2) 平成18年度影響評価対象河川について

羅臼川ほか5河川を平成18年度の対象河川とする。

(3) 河川工作物の改良工法の検討について

ア イワウベツ川

北海道森林管理局の河川工作物については、プールタイプの魚道とする。

斜里町の導水管については、防災施設でないという観点から、魚道設置に限らず、代替施設を設置して構造物自体を撤去することも含めて検討を行う。

イ ルシャ川

天端切り欠きで行う。

ウ サシルイ川

既存魚道の改良を念頭に工法を検討する。

(4) サケ科魚類の遡上効果のモニタリングについて

河川工作物改良後の改良効果を検証するため、上下流においてサケ科魚類の遡上数等の調査を行う。

(以上)